



第4節

芸術・文化

1 歴史・伝統文化の振興

(1) 歴史・文化遺産の保全と活用

(2) 伝統的祭り行事の振興

2 芸術文化の振興

(1) 優れた芸術・文化体験の創出

(2) 地域に根ざした演劇文化の振興

1 歴史・伝統文化の振興

(1) 歴史・文化遺産の保全と活用

現状と課題

① 七尾固有の文化財

七尾市には、古墳時代初期（4世紀）の日本最大級の大型建物群跡が発見されている万行遺跡、古代能登国の中核史跡である能登国分寺跡、日本100名城に選ばれている七尾城跡等の史跡、座主家住宅、前田利春画像や青柏祭の曳山行事など、郷土の歴史を伝える貴重な文化財が数多く存在し、七尾の歴史の奥深さを物語っています。また、近年では港町として栄えた七尾町屋の近代建築物等が国登録有形文化財に登録されており、先人が育んだこれら七尾固有の文化財を次代へ継承していく必要があります。



七尾城跡

② 数多く残る歴史・文化遺産の発掘

現在の七尾市の文芸活動は戦国時代に栄え、画聖長谷川等伯の素養を育んだ京風の「畠山文化」や、北前船の寄港地として栄えた時代の「港町文化」等が原点となっています。また、七尾市には、前田利家ゆかりの長齢寺や丸山梅雪の本行寺等で構成される山の寺寺院群をはじめ、新たに文化財になりうる資源が多数存在します。今後も、「畠山文化」や「港町文化」を次代に継承するとともに、有形・無形の歴史・文化遺産の新たな発掘をしていくことが必要です。

③ 活用が求められる文化財

七尾市では、七尾城まつりなど文化財を活用したイベントを多数開催しています。さらに文化財を身近に感じるためには、文化財を幅広く活用し、市民が歴史・文化遺産に接し、愛着を持つことができる機会を増やすことが重要です。

文化財の状況

		国指定	県指定	市指定
有形文化財	建造物	2		11
	美術工芸品	4	13	181
無形文化財				1
民俗文化財	有形			2
	無形	3	3	11
記念物	史跡	4	3	13
	名勝			2
	天然記念物		4	12
登録有形文化財		10		
合計		23	23	233

(資料：七尾市文化財課 平成20年4月現在)

国指定文化財

建造物	藤津比古神社本殿附元禄十五歳棟札
	座主家住宅
絵画	絹本著色前田利春画像
重要美術品	紙本著色前田利家画像
工芸品	刺繍 阿弥陀三尊像
彫刻	木造久麻加夫都阿良加志比古神坐像
無形民俗文化財	青柏祭の曳山行事
	気多の鶴祭の習俗
	熊甲二十日祭の杵旗行事
史跡	七尾城跡、能登国分寺跡附建物群跡
	須曾蝦夷穴古墳、万行遺跡

(資料：七尾市の文化財)



施策の方針

① 歴史的価値のある文化財の保護

市民が文化財を誇りに思い、大切に次の世代に引き継いでいくよう普及啓発するとともに、「七尾まだら」をはじめとした無形文化財の継承を図ります。また、建造物や美術工芸品、天然記念物等の有形文化財の適切な管理・保存に努めます。

施策内容	主な取り組み
有形文化財の保存	国・県・市指定有形文化財の保護
◎ 無形文化財の継承	無形文化財の後継者育成への支援
文化財保護意識の拡大	市民への普及啓発の推進

② 歴史・文化遺産の調査・研究活動の推進

埋蔵文化財の発掘や的確な調査研究を推進するとともに、未指定・未登録の文化財を掘り起こし、新たな文化財の指定・登録を推進します。

施策の内容	主な取り組み
文化財の調査研究の推進	埋蔵文化財発掘調査の充実
文化財の指定・登録の推進	未指定、未登録の文化財の掘り起こし

③ 歴史・文化を活かした交流の促進

七尾学や七尾検定等により歴史・文化学習を推進するとともに、資料館や展示施設等の充実を図り、歴史に慣れ親しむ機会を創出します。また、歴史・文化財関連イベントを開催し、歴史・文化の普及啓発を通じた交流の促進を図ります。

施策の内容	主な取り組み
◎ ふるさと七尾の歴史・文化学習の推進	七尾学の推進
	七尾検定の推進
七尾の歴史・文化の普及啓発の推進	市史編さんの推進
	七尾町屋等の国登録有形文化財の活用
	文化財保護施設の充実
◎ イベント開催と受け入れ体制の充実	七尾城まつり等のイベント開催

主な目標値

指標名	指標の説明	現状値	平成25年度	平成30年度
歴史・文化遺産が守られていると思う市民の割合	歴史・文化遺産の保全への取り組み状況を示す指標	53.6% (平成20年度)	55.0%	60.0%

1 歴史・伝統文化の振興

(2) 伝統的祭り行事の振興

現状と課題

① 地域に根ざした伝統的祭り行事

七尾市には、曳山祭りやキリコ祭りなど数多くの伝統的な祭り行事が各地で行われています。中でも、国指定重要無形民俗文化財に指定されている青柏祭の曳山行事、お熊甲祭の杵旗行事、県指定無形民俗文化財に指定されている能登島向田の火祭は貴重な伝統行事です。しかしながら、人口減少や高齢化により、祭り行事の継承が困難になる地域が一部で存在します。

これらの伝統的祭り行事を伝承・振興させていくためには、後継者の育成や市民が祭り文化にふれる機会を増やすなど、市民へのさらなる浸透を進めなければなりません。



青柏祭の曳山行事

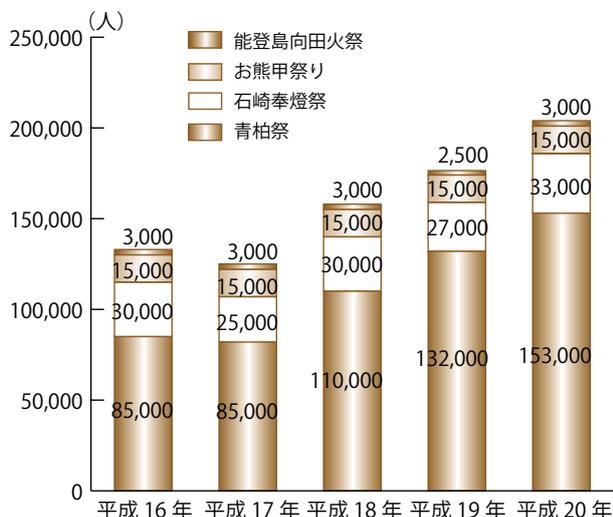
② 観光資源として活用される伝統的祭り行事

七尾市には、青柏祭、お熊甲祭り、能登島向田の火祭、石崎奉燈祭の七尾四大祭りをはじめ、三引町の獅子舞など、各地域において、素晴らしい伝統芸能が今日までしっかり受け継がれています。これらは、市民はもとより全国各地から観光客を呼び込むことができる重要な観光資源です。

このような中、観光客に祭りの魅力を正確に伝えるため、各種情報媒体を活用した効果的な観光情報の提供が求められています。

今後も引き続き、全国に向けたPR活動の強化や訪れた観光客が祭りを十分に堪能できるような工夫を行い、祭りを活かした観光振興を図る必要があります。

七尾四大祭り入り込み客数



(資料：七尾市観光統計)



お熊甲祭の杵旗行事



施策の方針

① 伝統的祭り行事の継承

無形文化財の後継者育成や地域の伝統的祭り行事を支援し、伝統的祭り行事の継承・発展に努めます。また、資料館等の充実を図り、祭り文化にふれる機会を創出します。

施策の内容	主な取り組み
◎ 後継者の育成	国指定無形文化財後継者の育成
◎ 魅力的な祭り文化の振興	伝統的祭り行事の開催支援
地域の伝統的祭り行事継承支援	ふるさと文化の再興
祭り文化にふれる機会の創出	中島お祭り資料館の充実

② 伝統的祭り行事を活かした観光の振興

祭りを核とした観光ルートや商品の開発を進め、国内はもとより、国際化に対応した祭りのPR活動を推進するとともに、伝統的祭り行事を積極的に活かした観光振興を図ります。また、観光客に分かりやすい案内看板の整備や観光ガイド養成講座の開催など、観光客の受け入れ体制の充実を図ります。

施策の内容	主な取り組み
◎ 全国、世界に向けた祭り行事のPR活動の推進	祭りを核とした観光ルート・商品の開発
◎ 観光客の受け入れ体制の充実	観光ガイドの養成
	案内看板の整備
	交通渋滞の解消

主な目標値

指標名	指標の説明	現状値	平成25年度	平成30年度
七尾四大祭り入り込み客数	伝統的祭り行事の振興を示す指標	204,000人 (平成20年)	250,000人	300,000人

2 芸術文化の振興

(1) 優れた芸術・文化体験の創出

現状と課題

① 多様な芸術・文化活動

余暇時間の増大や価値観の多様化により、心の豊かさを求める市民意識が高まっている中、七尾市では、各種団体や個人で俳句や舞踊、華道、音楽等、様々な芸術文化活動が行われています。

芸術・文化活動の促進と振興を目指す組織である七尾市文化協会では、多様な芸術・文化活動が展開されています。その中でも姉妹都市のアメリカ・モンレー市との交流によるジャズフェスティバルは新しい文化として地域に定着してきています。

市民主体の文化活動をさらに高め、若い世代への芸術文化の浸透と市民の芸術活動を支える文化施設の利便性の向上が求められています。



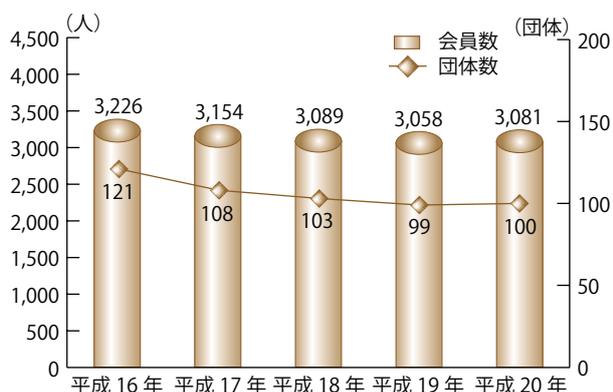
石川県七尾美術館

② 美術館観覧者の減少

七尾市には、七尾美術館や能登島ガラス美術館など、芸術に直接ふれることができる施設があり、市民の芸術文化活動の拠点として幅広く利用されています。七尾美術館では、七尾市が生誕の地である長谷川等伯の作品が大型ハイビジョンで鑑賞でき、講演会やコンサートが可能な240席のアートホール、市民ギャラリーを備えており、能登唯一の総合美術館として様々な企画展を開催しています。能登島ガラス美術館では、ガラス芸術専門の美術館で、海外の作家の作品が多数収蔵展示されており、隣接する能登島ガラス工房では、手作りのガラス体験や技術習得教育の場があり、多くの若い作家が育っています。

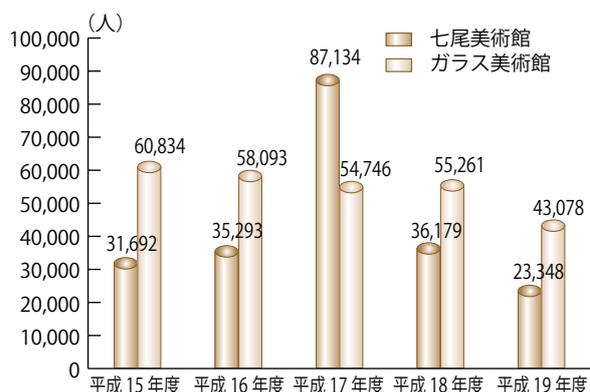
美術館の観覧者は、企画展の内容によってばらつきがありますが、特に平成19年能登半島地震の影響による落ち込みが大きく、全体的に減少傾向が続いています。美術館の来館者数を増やすためには、芸術文化施設の利点を生かしたネットワーク化を進め、市民に親しまれる企画展を開催する必要があります。

文化協会会員数・団体数



(資料：七尾市文化協会 各年5月現在)

美術館観覧者数



(資料：七尾市文化振興課)



施策の方針

① 芸術・文化活動の促進

映画鑑賞や音楽会等を開催し、若い世代が直接芸術文化にふれる機会を増やします。また、特色ある地域文化活動を促進し、芸術・文化団体の育成を図ります。

施策の内容		主な取り組み
	特色ある地域文化活動の促進	各種文化振興活動の支援
		文化団体等の運営支援
	芸術文化にふれる機会の創出	オーケストラアンサンブル金沢七尾定期公演
		スクールシアターの実施
		サンビーム日和ヶ丘における映画上映
		文化施設の利便性向上

② 美術館の機能充実

来館者に驚きと感動を与える企画展を開催するとともに、ワークショップの開催や市民ギャラリー、アートホールを地元の芸術作家に開放するなど、市民に親しまれる美術館を目指します。

施策の内容		主な取り組み
	美術館の魅力創出	企画展の充実
		関連施設の連携強化
		美術館施設の機能充実
	美術体験活動の推進	市民ギャラリー、アートホールの開放
		ワークショップの開催

主な目標値

指標名	指標の説明	現状値	平成25年度	平成30年度
七尾美術館観覧者数	七尾美術館の観覧状況を示す指標	23,348人 (平成19年度)	36,000人	41,000人
能登島ガラス美術館観覧者数	能登島ガラス美術館の観覧状況を示す指標	43,078人 (平成19年度)	55,000人	60,000人

2 芸術文化の振興

(2) 地域に根ざした演劇文化の振興

現状と課題

① 演劇文化によるまちづくり

中島地区では、昭和60年から地元住民と無名塾生の交流が始まり、平成7年には演劇専用の施設である能登演劇堂が建設され、「演劇のまち」として演劇文化によるまちづくりを行っています。市町合併後も、能登演劇堂を拠点として演劇文化を発信しており、ほぼ3年に一度のペースでロングラン公演を行っています。

今後も能登演劇堂を核とした能登演劇文化のブランド化を図り、鑑賞者や施設利用者が増加するよう、積極的な取り組みを継続していくことが必要です。



能登演劇堂

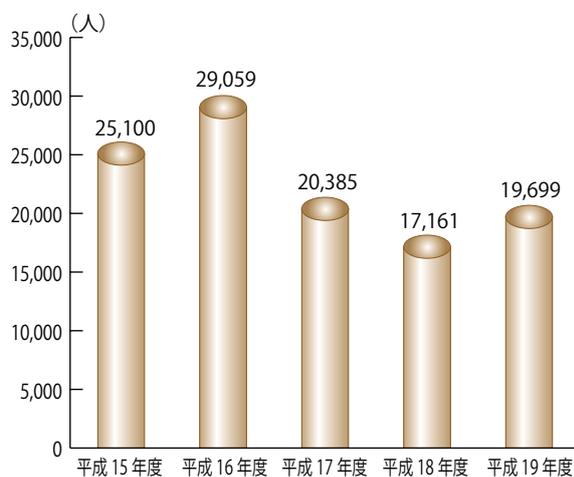
② 市民に浸透している演劇文化

毎年開催される能登七尾演劇祭では、無名塾や市民劇団等の様々な劇団が能登演劇堂をはじめ、市内のお寺や駅のホームなど、様々な場所を会場として演劇公演を行い、市民が演劇鑑賞する機会を提供しています。また、七尾子ども劇場はサンライフプラザで優れた演劇を定期的で開催しており、演劇コースの高校生による卒業公演も毎年開催されています。

演劇のまち振興事業団では、直轄の舞台芸術アカデミーを組織しており、専門的な技術集団として、能登演劇堂の技術対応や市民劇団の裏方として活動支援を行っています。また、演劇文化の浸透を図るため、友の会会員の募集やボランティアスタッフの育成等を行っています。

演劇文化を地域に根付かせるためには、市民の演劇文化のさらなる浸透や演劇人材の確保が求められています。

能登演劇堂鑑賞者数



(資料：七尾市文化振興課)



市民劇団の公演



施策の方針

① 演劇文化の魅力創出

能登演劇堂を拠点としたワークショップや能登七尾演劇祭の開催等により、気軽に演劇を体験したり、市民が市内各地で演劇鑑賞できる機会を充実し、地域の文化資源として演劇文化の価値を高め、地域ぐるみで「演劇のまち」としての魅力を生み出します。

施策の内容		主な取り組み
◎	演劇文化の振興	演劇祭等の充実
		演劇のまちづくりの支援
◎	演劇交流の促進	無名塾の合宿支援
		能登演劇堂ワークショップの開催
	演劇施設の充実	能登演劇堂の機能充実

② 演劇文化の醸成と継承

実際に演技をする役者だけでなく、裏方の演劇スタッフや演劇ボランティアなど、演劇に携わる人材を幅広く育成するとともに、市民主体の演劇活動の発表の場を創出し、演劇文化が継続する仕組みづくりに努めます。

施策の内容		主な取り組み
◎	演劇スタッフやボランティア等の人材育成	舞台芸術アカデミーの支援
		演劇ボランティアの育成
◎	演劇を志す若い人材の育成	七尾東雲高校演劇科生徒の全国募集
	市民主体の演劇活動の促進	市民劇団の育成支援

主な目標値

指標名	指標の説明	現状値	平成25年度	平成30年度
能登演劇堂鑑賞者数	能登演劇堂の鑑賞状況を示す指標	19,231人 (平成19年度)	24,000人	28,800人

